

21 日野町文化財保存活用地域計画【鳥取県】

【計画期間】令和5~13年度（9年間）

【面 積】133.98km²

【人 口】約2.7千人



指定等文化財件数一覧

種別	国		県	町	計
	指定	登録			
有形文化財	建造物	0	2	1	1
	美術工芸品	3	0	0	2
無形文化財		0	0	0	0
民俗文化財	有形の民俗文化財	0	0	0	0
	無形の民俗文化財	0	0	0	0
記念物	遺跡	0	0	1	0
	名勝地	0	0	0	0
	動物・植物・地質鉱物	0	0	3	0
伝統的建造物群		0	-	-	0
文化的景観		0	-	-	0
計	3	2	5	3	13

推進体制

行政	日野町 総務課、企画政策課、 産業振興課、教育委員会
	日野町文化財保護審議会、日野町文化財保存活用地域計画推進協議会ほか
鳥取県	鳥取県地域づくり推進部文化財局文化財課、鳥取県地域づくり推進部文化財局とつり弥生の王国推進課、鳥取県立公文書館、鳥取県埋蔵文化財センターほか
地域	自治会
所有者	指定・未指定文化財所有管理者
民間団体	一般社団法人日野町観光協会、伯耆国たら顕彰会、黒坂鏡山城下を知ろう会、奥日野ガイド倶楽部

指定等文化財は、13件
未指定文化財は、349件把握

歴史文化の特徴

① たたら製鉄に関わる歴史文化

中国山地から産出する砂鉄により「たたら製鉄」が盛んに行われ、農村部の経済を支え町の近代化に寄与した。

② 城下町黒坂とその形成に係る歴史文化

黒坂は関ヶ原合戦後に入部した関一政によって城下町が形成され、その後鳥取藩の陣屋が置かれたことから政治の中心地としての歴史を歩んだ。

③ 出雲街道と宿場町に関わる歴史文化

近世初頭に整備された出雲街道は上方に通じる街道として参勤交代で使用され多くの人・モノが往来し、根雨・板井原は宿場町として発達した。

④ 長谷部信連と祈りに関わる歴史文化

源平の争乱で日野に来郡した長谷部信連は、広範囲に活動した。日野町内の寺社には信連の伝承が残るものが多くある。

日野町の歴史文化の特徴

①たたら製鉄に関わる
歴史文化

②城下町黒坂とその形
成に係る歴史文化

③出雲街道と宿場町に
関わる歴史文化

④長谷部信連と祈りに
関わる歴史文化

【基本理念】歴史文化を知り、守り、活かし、継承することによる持続可能なまちづくり

▷課題

基本方針1 文化財を知る・把握する

- ・文化財調査の不足
- ・情報発信と学ぶ機会の創出が不十分
- ・文化財の情報が未整理

基本方針2 文化財を守る

- ・指定・登録による保護措置が不十分
- ・自治会・集落の地域活動減少の懸念
- ・歴史民俗資料館の資料保管環境が未整備
- ・歴史民俗資料館の資料整理が不十分
- ・防犯・防災体制が未整備

基本方針3 文化財を活かす

- ・文化財の積極的な情報発信と活用が不十分

基本方針4 ともに継承活動に取り組む

- ・学校教育と文化財担当課との連携不足
- ・関係課・団体間の連携不足
- ・未指定文化財の保存・継承体制が未整備
- ・文化財保護専任職員の未配置

基本方針5 拠点となる場所をつくる

- ・歴史民俗資料館展示機能の活用不足
- ・周遊につながる案内施設が未整備
- ・旧山陰合同銀行根雨支店の未活用

▷方針

基本方針1 文化財を知る・把握する

- ・域内文化財把握と価値の明確化の推進
- ・文化財に関する情報発信の強化
- ・データベース作成の推進

基本方針2 文化財を守る

- ・文化財の指定・登録の充実
- ・地域活動への支援の強化
- ・日野町歴史民俗資料館の資料収集保管計画作成による収集保管状況の改善
- ・日野町歴史民俗資料館の収蔵資料整理の推進
- ・防犯・防災対策の推進

基本方針3 文化財を活かす

- ・文化財の活用につながるイベント開催の充実
- ・ユニークベニューの推進

基本方針4 ともに継承活動に取り組む

- ・学校ふるさと教育に係る連携の強化
- ・文化財関係団体・関係課の連携強化
- ・地域や団体等とともに取り組む体制の強化
- ・文化財保存活用地域計画の各事業の推進

基本方針5 拠点となる場所をつくる

- ・歴史民俗資料館の活用の推進
- ・旧山陰合同銀行根雨支店の活用の推進

▷文化財の保存・活用に関する措置の例

1 域内文化財調査事業

関連文化財群に関わる文化財調査として「ヒヤ谷たたら」「たたら民具」「黒坂城」「陣屋跡」「長楽寺と長谷部信連」について調査を実施する。

■行政、民間団体、所有者、地域 ■R5~10



8-1 長楽寺仏像群の防犯体制等強化事業

長楽寺仏像群の防犯体制整備について検討を進める。「消防計画」の作成・見直しや、こまめな火災予防など文化庁防火対策ガイドラインに基づく点検・整備に努める。

■行政、所有者、地域 ■R5~7



9 文化財を知る講座の開催事業

ふいご祭り等の既存イベントに加えて、調査で把握した文化財について紹介する講座等を開催し、日野町の文化財に触れる機会をつくる。

■行政、所有者、地域、民間団体 ■R5~13



11 学校ふるさと教育推進事業

郷土への愛着や誇りの醸成のため、現在のふるさと教育を継続するとともに、学校と教育委員会事務局文化財保護担当の連携を深め、調査内容を反映させる等、積極的に文化財を取り入れていく。

■行政、所有者、地域、民間団体 ■R5~13



18 旧山陰合同銀行根雨支店活用拠点化事業

多目的フリースペースとしての耐震改修を行い、文化財や観光情報の発信、地域交流・イベント等の拠点とする。

■行政、所有者、民間団体 ■R8~13



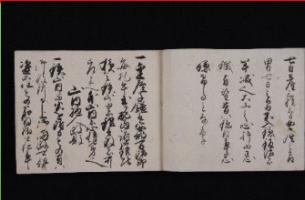
関連文化財群の設定

○ストーリーとしてまとめてわかりやすくすることで、地域住民自らが文化財の価値を理解し継承を図るとともに、町内外に価値を発信して文化財を活用したまちづくり、観光振興を進めていくため、以下の4つのストーリーを紡ぎ出した。

関連文化財群1 たたらの里

中国山地特有の花崗岩と豊富な山林から隆盛した製鉄業。近藤家の事業は町の経済・教育・文化の発展にも大きな影響を与えた。

[措置の例] 20 都合山たたら跡調査研究事業 等



関連文化財群2 関一政と福田家の治世 黒坂城下町の暮らし

近世初期の関一政入部と福田家の支配は黒坂を城下町とさせ、現在の町の基礎となるものだった。城下町の面影を今に残している。

[措置の例] 1-3 黒坂城址調査事業

1-4 黒坂陣屋と福田氏に係る調査事業 等



関連文化財群3 街道と宿場 往來した天皇・大名・產物

山陰と山陽の中継地として多くの人々やモノが往来した日野町。中世の後醍醐天皇通行伝承、近世には出雲街道を松江藩が通行した。根雨、板井原には宿場が置かれた。

[措置の例] 26 根雨宿を巡る看板設置事業

27 宿場町を巡る観光パンフレット作成事業 等



関連文化財群4 長谷部信連と祈り

古代の仏教受容の様相を知る長楽寺仏像群と町域の多くの寺社の再興や整備を実施した長谷部信連。豪族金持氏が拠点とした地に鎮座する金持神社と、その社名を尊んで参拝する現代の祈り。古代から現代に至る普遍的な「祈り」の場としての歴史が垣間見える。

[措置の例] 1-5 長楽寺に関わる魅力価値調査事業 等



関連文化財群1 たたらの里

1. 概要

日野町内の各地に残る「たたら場」は、伝統的な製法で古代から行われてきた製鉄業の歴史を物語る。金持の地名の由緒は多量の砂鉄が産出することや、平安後期～鎌倉時代においてそれを勢力基盤としたという金持氏が伝承している。

近世後期には、技術の発達と鳥取藩の政策により多くの鉄山師が製鉄業に参入し、中でも根雨の近藤家は経営規模が大きく、大阪に出店を持つなど販路拡大に努め、生産した鉄・鋼を全国に供給した。

2. 構成文化財

建造物：近藤家住宅[県指定]／日野町歴史民俗資料館（旧根雨公会堂）[国登録]／日野町公舎（旧出店近藤）／旧山陰合同銀行根雨支店

石造物：伝 金持景藤の墓

美術工芸品：鉄山要口譯／高殿模型

遺跡：都合山たたら跡[県指定]／ヒヤ谷たたら（舟場山たたら）／大要害／小要害

3. 目標・将来像

たたら文化を活かしたまちづくりの推進

たたら製鉄に関わる未調査分野について調査を実施し、既存の調査と合わせて価値、魅力を磨き上げるとともに、たたら文化を活かした日野町の魅力を発信して観光振興を図る。

4. 保存・活用の課題

- ・ヒヤ谷たたらの所在は知られているものの遺構の概要や価値が不明
- ・都合山たたら跡の潜在的な価値の把握、磨き上げが不十分
- ・近藤家住宅の将来的な保存方針が未定

等



5. 保存・活用の方針

- ・ヒヤ谷たたら（舟場山たたら）の調査
- ・県指定史跡都合山たたら跡の価値の追究
- ・近藤家住宅の保存活用計画の作成

等

6. 措置

1-1 ヒヤ谷たたら（舟場山たたら）調査事業

ヒヤ谷たたら（舟場山たたら）について山内構造や経営等を文献や踏査などから明らかにする。

■行政 民間団体 所有者 地域 ■R5～10

20 都合山たたら跡調査研究事業

都合山たたら跡のさらなる価値を明らかにする。

■行政 民間団体 所有者 地域 ■R5～10

21 近藤家住宅保存活用計画作成事業

近藤家住宅の保存活用について関係者と協議し、適切な方策を検討、計画を定めて、次世代への継承と具体的な活用を推進する。

■行政 民間団体 所有者 地域 ■R5～7